

第18期一般陸曹候補生（新隊員）課程後期

卒業



発行所
明野駐屯地
広報班



野外訓練



整備基礎



令和4年7月5日〜令和4年9月16日の間、航空学校において第18期一般陸曹候補生（新隊員）課程後期教育が行われました。

今年入校した15名の新隊員は約3ヶ月間、陸上自衛隊航空科隊員として必要な航空機整備及び野外における諸行動に関する知識及び技能修得のため、教育に取り組みました。

8月下旬〜9月上旬に実施した野外訓練では、雷雨及び猛暑の中、掩体構築、重機関銃を使用した対空戦闘訓練等に積極的に取り組みました。特に夜間の23km行進訓練においては、背囊（はいのう）と装備品（総重量約20kg）を持ち、雨で重くなる装備品と疲労、眠気をこらえ、翌日の朝方まで夜通し行進し、力強く完歩しました。

9月16日、3年振りにご家族及び協力者参加の卒業式を実施し、後期教育を修了しました。

新隊員はそれぞれ、明野本校、霞ヶ浦校、宇都宮校及び飛行教導隊（富士飛行班含む）へ配属されました。

彼らが今後、陸上航空戦士として成長、活躍してくれることを期待しています。



UH-2 ドアガン 射撃検証



UH-2訓練開始式



航空学校は、6月16日〜18日及び7月20日〜30日の間、各方面隊等の協力を受け、東富士演習場及び佐多対空射撃場において「UH-2ドアガン射撃検証」を実施した。

この検証は、UH-2の部隊導入に先立ち、射撃要領の有効性を確認するために行われたものである。検証部隊は、射撃を無事終了し所望の成果を獲得して、UH-2でのドアガン射撃訓練基準の有効性と各射場における安全な訓練の実施要領を確認することができた。



7月13日、明野駐屯地航空学校で新型多用途ヘリコプターUH-2訓練開始式が行われた。この式典には、航空学校の隊員ら約200名と来賓が参加した。整備部の高橋1尉による機体説明のほか整備部の宮内2曹への機付長任命、第2教育部長の土子1佐の訓練開始報告、安井航空学校長による訓示が行われたのち安全祈願のダルマの目入れを実施した。訓示では「優れた機動性を訴え機体をハイペースで装備して戦力化することで我が国の平和と安定、国民の安全・安心に寄与する」と訓示を述べた。



部隊紹介

〈第5対戦車ヘリコプター隊〉

第5対戦車ヘリコプター隊は、中部方面隊における唯一のヘリコプター火力戦闘部隊であり、対戦車ヘリコプターAHI-1Sをもって対甲戦闘、対空挺・ヘリボン戦闘及び空中機動掩護等の任務を実施するとともに、観測ヘリコプターOH-1をもって航空偵察等の任務を実施します。

今年2月よりOH-1の飛行が再開され、令和4年度富士総合火力演習に参加し、総火演の成功に大きく貢献しました。7月には航空隊長訓練検閲の受閲及びAH射撃を実施しました。これらの訓練においては、隊員の旺盛な士気をもって航空安全を確保しつつ、平素からの練成の成果を遺憾なく発揮することができました。今後とも第5対戦車ヘリコプター隊をよろしくお願い致します。



対空戦闘準備完了！！



アタッカー離陸！いざ戦闘地域へ！



オメガ離陸！偵察任務を完遂せよ！



〈中部方面管制気象隊 第1派遣隊〉

中部方面管制気象隊は、中部方面航空隊の隷下部隊であり、隊本部、基地隊及び4個派遣隊からなります。隊本部及び基地隊は大阪府にある八尾駐屯地に所在し、明野駐屯地に所在するのは第1派遣隊となります。

第1派遣隊には、本部班、通信班、管制隊及び気象班があります。任務としては、明野飛行場における航空管制業務、航空気象業務及び航空機の運航支援を行い、行動時には展開地等において野外管制業務及び航空気象業務を行います。

第1派遣隊は、平均年齢が三十三歳と若い部隊であり、あらゆる任務においても、派遣隊長の卓越した指揮・指力・気力の充実した明るく元氣な部隊です。



移動気象観測の様子



飛行場管制業務



やる気みなぎる車両B整備

真珠抄

『アンガーマネージメント』

最近よくこの言葉を耳にします。今一度この言葉の意味するところを調べてみると、これは怒りの感情を全く起こさないことではなく、怒りをコントロールして怒りと上手に付き合う方法のことです。

一般的に、社会との関わりをもって生活をしていく上で全く怒りの感情がわかないということは、よほど悟りを開いた人等でなければ難しいことだと思います。

では、いかにして怒りをコントロールするのか、よく6秒ルールなどを聞きますが、そもそも怒り心頭している状態で6秒ルールそのものを思い浮かべること自体難しい気がします。その時の瞬時の意志の力では限界があると思います。

ある本には、まずアンガーマネージメントを身に付けるメリットを理解し、自分の性格に応じてどう対処すればいいのかを分析し、トレーニングすることが必要だとありました。アンガーマネージメントは技術的なものであることから練習すれば誰でも習得できるそうです。自衛官でも昨今はパワハラ事案が増加し問題化しています。怒りと上手く付き合う方法について考えてみてはいかがでしょうか？

(第10飛行隊長)

栄光の紹介

第23期陸曹初級航空機体整備(UH-60)課程 主席賞
航空学校整備部 山村2曹



「入校させていただいた機会に感謝して、日々努力したいとおもいます。」

令和4年度富士総合火力演習における優秀航空機整備陸曹としての功績
富士教導団長より褒賞
第5対戦車ヘリコプター隊 長尾2曹



「私の行動を評価していただけてとても光栄でした。これからも引き続き頑張っていきます。」

車両無事故走行2万キロ
中部方面管制気象隊第1派遣隊 田中3曹



「引き続き、安全運行に努めます。」

装輪車整備課程 教育部長賞
第107全般支援大隊 磯村3曹



「今後何事にも全力で取り組みます。」

新着任部隊長紹介

中部方面管制気象隊第1派遣隊長

3等陸佐 中島 貴行



中部管気本部(八尾)から参りました。出身は大阪。顔は強面ですが、下戸で小心者です。気軽に声を掛けください。派遣隊共々よろしくお願ひ致します。

定年退官



5月3日
第107全般支援大隊
1等陸曹
田中 実



5月19日
総務部
陸曹長
塩田 啓次



7月24日
整備部
陸曹長
神田 徹也



9月15日
総務部
陸曹長
伊東 勝晴

永年の自衛隊勤務、誠にお疲れ様でした。皆様の「健勝とご多幸を祈念しております。」